

電力線搬送用保安装置[改正]

(JEC-5920 : 2015)

電力用通信標準化委員会

委員長 伊藤 和雄

幹事 芹澤 善積, 森田 和敏

幹事補佐 岡本 昌哉

電力線搬送用保安装置に関する JEC 規格は、1975 年に JEC-194 (電力線搬送用保安装置) として制定され、その後、関連規格である JEC-0202 (インパルス電圧・電流試験一般) などの改正が行われた。

本規格は、電力線搬送用結合フィルタと電力線搬送装置との間に挿入し、電力線より侵入する各種異常電圧・電流から、電力線搬送装置および接続用同軸ケーブル(同軸コードを含む)を保護するための保安装置に適用する。電力線搬送関連規格の相関を図 1 に示す。

電力用通信標準委員会では、改正された関連規格との整合及び JEC 規格票の様式への対応を主として改正作業を実施し、JEC-5920 (電力線搬送用保安装置) を発行した。改正にあたり、規格番号は、規格票様式 (2012) に基づき、JEC-194 から JEC-5920 に変更した。

今回の主な改正点は次のとおりである。

(1) 構成の見直し

JEC 規格票様式 (2012) に基づき、全般にわたって構成を見直した。序文、印用規格、解説の項を新たに作成し、付録に記載されていた内容は附属書とし規定と参考に分類して記載した。

(2) インパルス波形

7.2 インパルス電圧保護特性, 7.5.2 インパルス耐電圧で規定されているインパルス電圧波形は JEC-187-1973 (インパルス電圧電流試験一般) を参照し、 $(1 \times 40) \mu s$ と規定していた。今般、当該規格の最新版 (JEC-0202 (インパルス電圧・電流試験一般)) の規定にあわせ、インパルス電圧波形を $(1.2/50) \mu s$ に改正した。

(3) 試験項目の追加

6.1 定格に定めのある“定格短時間耐電流”について試験実施を規定していなかったため、8.2 試験項目及び試験順序に定格短時間耐電流試験を追加した。

電力用通信標準化委員会の構成は、委員長・幹事・幹事補佐のほか、委員の浅野俊明、阿部勝也、新井裕、池田信義、石倉定幸、伊東久人、岡田叔之、岡林親志、岡本和久、皆藤佳孝、小海裕、澤田克仁、竹内雅靖、中西勝、仁井真介、西野能啓、野崎正典、野村英生、浜松浩一、林尚典、原真一、藤橋芳弘、牧野利徳、増田文雄、三島久典、宮澤一貴、宮田宏、村上和宏、村下直久、柳川俊一、山本敬之、米倉和彦の各氏である。本委員会メンバーの他、長期にわたり御尽力頂いた委員会への参加者各位、関係各位に感謝申し上げる。

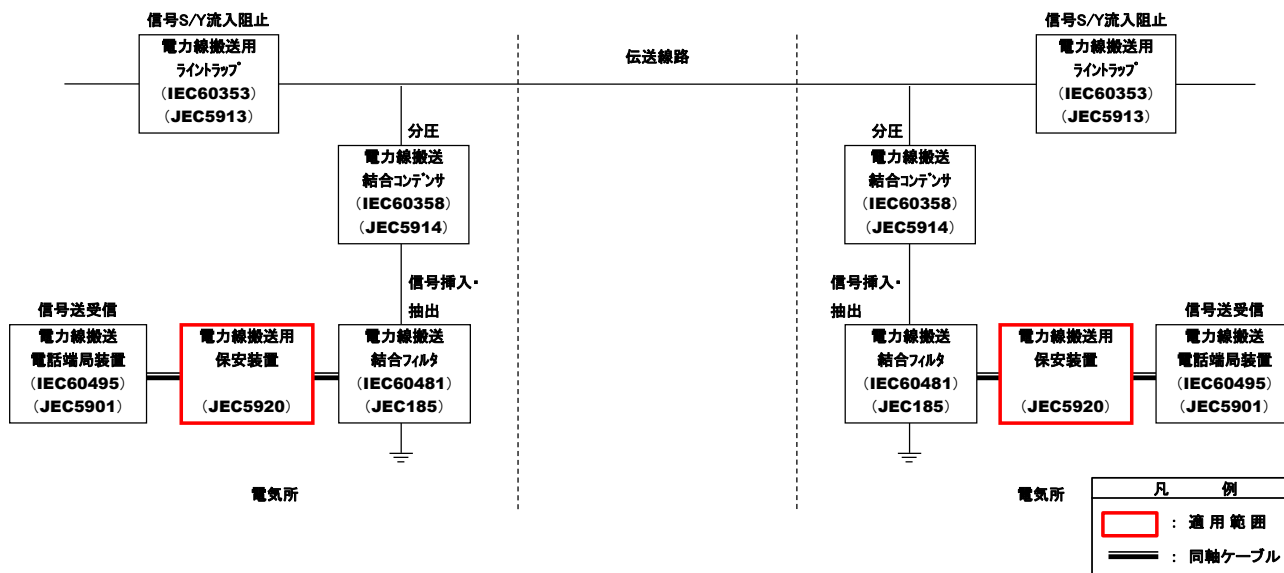


図 1 : 電力線搬送関連 規格相関図